



【学校教育目標】 磨き 輝き 未来をともに拓く朝日の子の育成

朝日っ子

長崎市立朝日小学校
学校便り 第35号
令和7年1月8日
校長 米村 郁子

令和7年、今年もよろしくお願ひします。

今年のお正月は天候に恵まれ、暖かく朗らかな3が日となりました。家族が集まったり、初詣に出掛けたり、正月遊びを楽しんだり、少しゆっくりと過ごせましたでしょうか。令和7年がよい年になるように、また、仕上げの3学期が子どもたちにとって実り多い日々となるように、始業式には次のように話しました。

巳年の巳というのは、へびのことですが、へびは脱皮を繰り返しながら成長していきます。このことから、巳年は、「復活と再生」の年とか、「新しい自分に生まれ変わる」年と言われます。きっと、あなたにとって、なりたい自分になることができる、チャンスの年になると思います。

今日から3学期が始まります。3学期のあなたのめあては何ですか。3学期に、あなたは何を頑張ろうと思いますか。1学期、2学期にも、皆さんは目標を立てて、学習や運動、係活動などを頑張ってきました。2学期の終業式で話したとおり、2学期の間に、自分から進んで挨拶できるようになったり、自分の思いを自分の言葉で伝えることができるようになったりした人が増えてきました。3学期はまとめの学期ですから、これまで以上に、ぜひ「高みを目指して」頑張ってください。「高みを目指す」というのは、今の状態に満足することなく、高い目標に向かって努力することです。挨拶する時は、恥ずかしいけれど相手の目を見て、相手に届く声の大きさを挨拶をする、相手に言われる前に自分から挨拶するというのも、これまでより上を目指すことです。話し合いをする時や発表する時には、恥ずかしいけれど、自信がないけれど、間違っているかも知れないけれど、自分の考えを自分の言葉で伝えてほしいと思います。

「高みを目指す」には、勇気が必要です。今の自分を打ち破り、ひとりひとり、どの学級も、2学期より「高みを目指して」頑張ってください。「高みを目指し」頑張ることは自分の夢に近づき、なりたい自分に近づくことです。



昨年度3学期始業式の日に発行した学校だより「本校ホームページが10,000アクセスを達成

しました。」と書いていました。現在は22,000アクセスを超えています。たくさんの方に本校の教育活動を見ていただき、とても嬉しく思います。12月の途中から、あじさいワールド（長崎市立学校等ホームページ）のサーバの不具合で、更新やアクセスが難しく



なりましたが、そんな中でもとてもたくさんの方にアクセスいただいたページがありました。それは、「6年球入れプロジェクト〈完結編〉」です。今年度の小体会で本校は久しぶりに球入れに出場しました。新しく球を作る際に、中にあずきを入れて、最後はみんなで食べようというプロジェクトを計画しました。暑い夏、練習に励み、小体会球入れは見事優勝！その完結編として、球をほどもき、中のあずきをあんこにして食べました。その時の様子をアップしていますので、ぜひホームページをご覧ください。

なお、あずきと砂糖の購入費用はPTAに支援していただきました。この場を借りてお礼を申し上げます。有難うございました。

【裏もご覧ください。】

三学期にがんばりたいこと

一年 ○○○ ○○○



一年生になってはじめてのふゆ休みは、しんせきの人とあつたり、はつもうでにいたり、たのしいふゆ休みでした。きょうから三学期がはじまります。わたしは、三学期にがんばりたいことが三つあります。

一つ目は、なわとびのきろくをのばすことです。さいしよは、まえとびが三かいしかとべませんでした。たいいくでれんしゅうをしました。なわをまわすはやさと、とぶリズムがあうように、気をつけました。そうしたらだんだんとべるようになりしました。一年生がおわるまでに、百かいとべるようにれんしゅうをがんばりたいです。

二つ目にがんばりたいことは、じかんをまもることです。じゅぎょうがおわったときに、ほかのことをしてじかにまにあわなかったことがあります。三学期は、とけいを見てこうどうしたいです。

三つ目は、さんすうのけいさんをはやくすることです。わたしは、ひきさんががてです。プリントでまちがえていたら、いえでふくしゅうをして、こんどは、まちがえないようにしていきたいです。三学期もいろんなことにちょうせんしてがんばりたいです。

冬休み楽しかったことと、三学期にがんばりたいこと

四年 ○○○ ○○○



ぼくが冬休みに楽しかったことは、二つあります。

一つ目は、祖父母といとこたちと家族で佐賀に旅行に行ったことです。みんなでご飯を食べたり、温泉に入ったり、楽しかったです。

もう一つは、家族で久留米のゆめタウンに行ってお正月にもらったお年玉でおもちゃを買ったことです。ぼくは、ふだんはあまり買わないのでうれしかったです。

三学期にがんばりたいことは二つあります。一つは、算数の学習です。ぼくは算数でうっかりミスが多いので、最後まであわてず、文章をよく読んで落ち着いてとけるようになりたいです。

もう一つは、春には五年生になるので、友達の気持ちを考えたり、意見を聞いて自分の考えに取り入れたり、ちがう意見をみとめ合ったりできるようにになりたいと思っています。



これは、以前、私が担任をしていた時の話です。国語科の2年生の読解プリントに「王さまとくつや」（新美南吉 作）の問題がありました。こじきのような格好をした王さまが、くつやに「そのほう、名はなんと申すのか。」と聞くのですが、くつやはこじき（王さま）の横柄な態度に対してつけんどんな言い方で反論します。ここで子どもたちは、「こじき」「そのほう」「つけんどん」の言葉の意味が分からずに、内容を読み取ることができませんでした。文章読解には、言葉の数（語彙）を増やすことが重要だと感じた出来事でした。

読むことは学習の基本です。学校の授業では教科書を使用しますが、教科書に書かれている内容を確実に読み取ることができれば、学習を理解することができます。読解には、その基になる語彙が必要です。語彙を豊かにするには、読書に親しむことや新聞を読むことが有効です。学校では読書タイムを中心に、読書の機会を設定し、小学生新聞も購入し、閲覧できるようにしています（なかなか手に取ってもらえませんが…）。ご家庭での読書の様子はいかがですか。分からない言葉があれば辞書で調べる習慣を身に付けることも大切です。

注）原文のままです。